筋魂王 ボディビルカードゲーム Lista

J.Onita
ジャッジカード 鬼田
B×2 C×1 P×1
の合計値が各選手の獲得点
筋魂王 Lista

筋魂王 Lista
Yosihiro sujino
選手カード 筋野義弘
B4 C5 P4 =13

筋魂王 Lista
Nikuji Kindo
選手カード 筋戸肉二
B7 C5 P3 =15

Nikuto Kin
アクシデントカード
筋 肉 人
パワーカードで防御失敗なら
標的の選手は3P減点
筋魂王 Lista

取扱説明書

制作・発行:　日本筋魂王連盟(JBKF)

筋魂王Lista（きんこんおうリスタ） 説明書（1）

■ カード種類＆説明

＊ 選手カード（基本カード）

筋魂王カードゲームの主役となるカードです。

実際のボディビル大会 審査基準となる、
バルクB （筋肉の大きさ）
カットC （減量度合い や ムキムキ度）
プロポーションP（上半身と下半身のバランスの良さ等）
の3項目を、マッスルポイント（数値）化することで、
ボディビル競技をリアルに再現しています。

実際のボディビル大会では、バルクが目立つ人、カットが目立つ人…等など 様々な特徴を持った選手が出場して来ますが、その“差”を、筋魂王でも 各々の マッスルポイント（基礎点）を 異なる値にすることにより、ゲームを盛り上げます。

＊ ジャッジカード（攻撃カード）

選手カードの優劣を決めるのに使います。

実際のボディビル大会では、出場してくるボディービルダーに対し 優劣を判定する **審査員**（ジャッジ） がいます。

審査員は、B（バルク）・C（カット）・P（プロポーション） の
3項目を基準に審査するのですが、審査員には“好み”があります。バルクタイプが好きな人、カットが好きな人…等など 様々ですが、その **“好みの差”** を 筋魂王でも **『×2』『÷2』** と 異なるものにすることで、カードゲームをおもしろくしています。

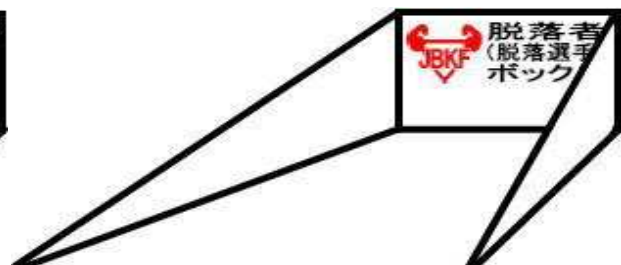
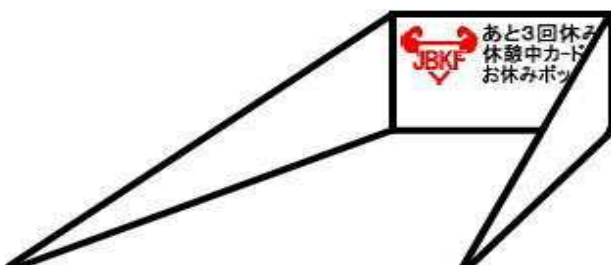
＊ アクシデントカード（追加攻撃カード）

実際のボディビル大会では、何かしらのトラブルが つきものですが、それを カード化 しました。

＊ マッスルパワーカード（防御カード）

追加攻撃を受けた側 が、“防御” する時に使う
100～250㌔までの数値が入った 計16枚のカード。

＊ お休み＆脱落者ボックス

PDF File №.07 を組み立てると、カードを入れる箱になります。

筋魂王Lista（きんこんおうリスタ）説明書（2）

■ 基本編・ゲームの進め方

＊試合場を用意します。

＊１対戦目（１回目）を行います。

＊まずは出すカードを選びます。

＊カードは敵に見えないように持ってください。

＊カードを双方が **“同時に”** に出します。**『各々（先攻＆後攻）の選手カード１～３枚』と『どちらかの攻撃カード（ジャッジカード）を１枚』を出すルール** となっています。 攻撃カード（ジャッジカード）は、先攻者 と 後攻者が **“１対戦ごと交互”** に出して行きます（１回目：先攻チーム、２回目：後攻チーム、３回目：先攻チーム・・・といった感じです）。

筋魂王Lista（きんこんおうリスタ）説明書（3）

＊攻撃カード（ジャッジカード）の指示通り、各々のチームの選手の獲得点を計算します。

（例）
ジャッジカード（先攻者）鬼田
選手カード（後攻者）筋野 の場合

バルクB（４×２＝８）+**カットC（５×１＝５）**+**プロポーションP（４×１＝４）＝計17P獲得** なので、『17』の目盛のところまでカードを進める。

＊この時、**最下位の者が脱落者**となります。

＊これで1対戦目（1回目）終了です。

＊１対戦終えた（1回使った）各種カード（選手カード・ジャッジカード・アクシデントカード）は **3回使えない（3回休みの）ルール** となっています。 各種カードは**『お休みボックス』**へ、脱落選手は**『脱落者ボックス』**へ入れてください。

筋魂王Lista（きんこんおうリスタ） 説明書（4）

＊次に、2対戦目（2回目）へ進みます。 1対戦目（1回目）と同じ感じでゲームを行います。

＊攻撃カード（ジャッジカード）の指示通り、各々のチームの選手の獲得点を計算します。

（例）
ジャッジカード（後攻者）Mr.ハゲ
選手カード（先攻者）筋代 の場合

バルクB（6×1＝6）+カットC（5÷2＝2.5 なので四捨五入で＝3）+プロポーションP（5×1＝5）＝計14P獲得 なので、『17』の目盛のところまでカードを進める。

＊この時、**最下位の者が脱落者**となります。

＊これで2対戦目（2回目）終了です。

＊1対戦終えた（1回使った）各種カード（選手カード・ジャッジカード・アクシデントカード）は **3回使えない（3回休みの）ルール** となっています。 各種カードは**『お休みボックス』**へ、脱落選手は**『脱落者ボックス』**へ入れてください。

※なお、1対戦目（1回目）に使ったカードは、『あと3回休み』⇒『あと2回休み』のボックス へ移動させます。

＊このような感じで、**どちらかのチームの選手カードが “全滅する”（無くなる）まで 繰り返します。 全滅したチーム側が “負け” となります。**